

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フルール		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年3 月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年3 月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4 月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている	活動内容や児童の特性に応じて部屋を使い分け、安全に活動できるよう配慮している。静かな環境で取り組む活動と体を動かす活動を分けることで、児童が落ち着いて過ごせる環境づくりを意識している。	児童の特性や人数、活動内容に応じて部屋の使い方を工夫し、安全で落ち着いて過ごせる環境づくりを継続していく。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている	子ども一人一人の発達状況や特性を把握するため、日々の関わりや保護者からの情報提供を大切にしている。個別支援計画に基づき、職員間で情報共有を行いながら、それぞれの特性に合わせた支援を行うよう努めている。	一人一人の特性に応じた支援が行えるよう、職員間での情報共有や研修等専門性則した支援の質の向上に継続して取り組んでいく。
3	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	提起的なモニタリングを行い、成長や変化を把握しながら、個別支援計画の見直しの必要性を検討している。職員間で情報共有を行い、状況に応じた支援内容となるよう、適切な見直しをおこなっている。	モニタリングを通じて児童の変化や成長を丁寧に把握し、職員間での情報共有を図りながら、より適切な個別支援計画の見直しに繋げていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等ができていない	家族支援の重要性は認識している物の、実施方法や時間の確保、保護者の参加のしやすい形について十分な検討が出来ていないことが要因と考えられる。	社労士の方を招いて「障害を持つ人の将来の資産運用」などについてのセミナーを開催する計画を立てている。それと合わせて親同士の懇談会も行えないかと計画している
2	職員の資質向上を図るための取組が少ない	日々の業務を優先する中で、職員研修や事例検討など資質向上のための取り組みを計画的に実施する機会が十分に確保できない事が課題の要因と考えられる。	外部研修への参加や事業所内での勉強会や事例検討の機会を設け、職員の専門性や支援の質の向上を図る
3	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援	自己決定や自己選択を促す支援の重要性は認識しているものの、日々の活動の中でその機会を十分に取り入れたり、多くの選択肢を提示出来ていなかったりすることが要因の一つと考えられる。	日々の活動の中で子どもが指示待ちにならず、自ら考えて選択する機会を意識的に設け、自己決定や自己表現を安心しておこなっていける力を育てる支援をおこなっていく。